

引用・参考文献

- 天舛一典、「伝統と変革」、宇都宮芳明・熊野純彦編、『倫理学を学ぶ人のために』、世界思想社、1994。
- アリストテレス（高田三郎訳）、『ニコマコス倫理学(上)』、岩波書店、1971。
- Arnold, P.J., *Sport, Ethics and Education*, Cassell, 1997.
- 浅田彰、『構造と力』、勁草書房、1983。
- 浅田彰、『逃走論』、筑摩書房、1984。
- 栗田賢三、古在由重編、『岩波哲学小辞典』、岩波書店、1979。
- 伴博、遠藤弘編、『増補現代倫理学の展望』、勁草書房、1998。
- Berger, Peter L. and Luckmann, Thomas. *The Social Construction of Reality*, Pentuin University Books, 1971.
- Breivik, G., "The Doping Dilemma: Some Game Theoretical and Philosophical Considerations." in *Sportwissenschaft*, 17:1 (March 1987), 83-94.
- Breivik, G., "Doping Games: A Game Theoretical Exploration of Doping." in *International Review for Sociology of Sport*, 27 (1992), 235-252.
- Brown, W.H., "Ethics, Drugs and Sport" in *Journal of the Philosophy of Sport*, VII, 1980, pp. 15-23.
- Brown, W.H., "Paternalism, Drugs and the Nature of Sports" in *Journal of the Philosophy of Sport*, X I: 1984, pp. 14-22.
- Brown, W.H., "Practice and Prudence" Presidential Address: Philosophic Society for the Philosophy of Sport, in *Journal of the Philosophy of Sport*, X VIII: 1990, pp. 71-84.
- Burke, M.D., "Drugs in Sport: Have They Practiced Too Hard? A Response to Schneider and Butcher" in *Journal of the Philosophy of Sport*, 1997, X X IV, pp. 47-66.
- ヴァンサン・デコンブ（高橋允昭訳）、『知の最前線』、TBSブリタニカ、1983。
(Descombes, Vincent, *History of Modern French Philosophy*, Syndicate of the Cambridge University Press, 1979.)
- J.デュウイ/J.H.タフツ（久野収訳）、『社会倫理学』、『世界の大思想』I・27、河出書房新社、1966。
- 土居健郎、『精神分析』（講談社学術文庫）、講談社、1988。
- ドゥルーズ、ガタリ（市倉宏和訳）、『アンチ・オイディプス』、河出書房新社、1986。
(Deleuze, Gilles, Guattari, Felix, *L'anti-Oedipe*, Editions de Minuit, 1972.)
- ジル・ドゥルーズ（平井啓之訳）、『差異について』、青土社、1992。
(Deleuze, Gilles, Les conception de la defférence chez Bergson, in *Les Etudes Bergsoniennes* Vol. IV, P.U.F. 1958, pp. 77-112.)
- ダニング、シャド（大西鉄之祐・大沼賢治訳）、『ラグビーとイギリス人』、ベースボール・マガジン社、1983。(Dunning, Eric and Sheard, Kenneth, *Barbarians, Gentlemen and player*, Martin Robertson and Company Ltd. 1979.)
- エリアス（赤井慧爾・中村元保・吉田正勝訳）、『文明化の過程（上）』、法政大学出版局、1977。(Elias, Norbert, *Über Den Prozess Der Zivilisation*, Francke Verlag, 1969. (Erster Band, Sechste Auflage, Suhrkamp Taschenbuch Verlag, 1978.))

- エリ阿斯 (波田節夫・溝辺敬一・羽田洋・藤平浩之訳)、『文明化の過程 (下)』、法政大学出版局、1978. (Elias, Norbert, *Über Den Prozess Der Zivilisation*, Francke Verlag, 1969. (Zweiter Band, Sechste Auflage, Suhrkamp Taschenbuch Verlag, 1979.))
- Elias, Norbert and Dunning, Eric, *Quest for Excitement*, Basil Blackwell Ltd. 1986. (エリ阿斯、ダニング (大平章訳)、『スポーツと文明化』、法政大学出版局、1995.)
- Fairchild, David L., "Sport Abjection: Steroids and the Uglification of the Athlete", in *Journal of the Philosophy of Sport*, XVI, 1989. pp.74-88.
- Fairchild, D.L., *The Days Were Longer Then: Some Simple Thought About Sport-Philosophy?*, JPS, 1991. XVIII:59-73.
- Feezell, Randolph, "Sportsmanship" in Morgan and Meier (Eds), *Philosophic Inquiry in Sport* (2nd Ed.), Human Kinetics, 1995.
- Fraleigh, W.P., "Performance-Enhancing Drugs in Sport: The Ethical Issue" in *Journal of the Philosophy of Sport*, XI: pp.23-29. 1984.
- Fraleigh, W.P., *Right Actions in Sport: Ethics for Contestants*, Human Kinetics Publishers, INC. 1984. (近藤良享他訳、『スポーツモラル』、不昧堂出版、1989.)
- Fraleigh, Warren, "Why the Good Foul Is Not Good", in Morgan, W.J. and Meier, K.V. (Eds.), *Philosophic Inquiry in sport* (2nd Ed), Human Kinetics. 1995.
- E. フロム (日高六郎訳)、『自由からの逃走』、東京創元社、1951. (Fromm, Erich, *Escape from Freedom*,)
- 藤原健固、『国際政治とオリンピック』、道和書院、1984.
- 藤原保信、『自然観の構造と環境倫理学』、御茶の水書房、1991.
- 藤原保信、『自由主義の再検討』(岩波新書)、岩波書店、1993.
- Gardner, Roger, "On Performance-Enhancing Substances and Unfair Advantage Argument." in *Journal of the Philosophy of Sport*, XVI, 1989. pp.59-73.
- ジョン・グレイ (藤原保信他訳)、『自由主義』、昭和堂、1991. (Gray, John, *Liberalism*, Open University Press, 1986.)
- アレン・グットマン (清水哲男訳)、『スポーツと現代アメリカ』、TBSブリタニカ、1981. (Guttman, Allen, *From Ritual to Record: The Nature of Modern Sport*, Columbia University Press, 1978.)
- アレン・グットマン (谷川稔、石井昌幸、池田恵子、石井芳枝訳)、『スポーツと帝国』、昭和堂、1997. (Guttman, Allen, *Games & Empires*, Columbia University Press, 1994.)
- 浜田義文、「倫理学とは何か — 近代倫理学の検討を通じて —」、日本倫理学会編、『倫理学とは何か』、慶應通信、1988.
- 半谷高久、「科学の論理と水俣病」、都留重人他編、『水俣病事件における真実と正義のために — 水俣病国際フォーラム (1988 年) の記録 —』、勁草書房、1989.
- R. ハーカー、C. マハール、C. ウィルス編 (滝本往人・柳和樹訳)、『ブルデュー入門』、昭和堂、1993. (Harker, Richard, Mahar, Cheleen, Wilkes, Chris, *An Introduction to the Work of Pierre Bourdieu: the Practice of Theory*, Macmillan, 1991.)
- ハイデガー (桑本務訳)、『ヒューマニズムについて』(角川文庫)、角川書店、1958. (Heidegger, Martin, *Über den Humanismus*, Klostermann, Frankfurt a.M, 1949.)
- 樋口陽一、『自由と国家』(岩波新書)、岩波書店、1989.
- 廣松渉、子安宣邦、三島憲一、宮本久雄、佐々木力、野家啓一、末本文美士編、『岩波哲学・思想事典』、岩波書店、1998.

- 堀川哲、「共産主義と自由主義」、鷲田小彌太編、『現代思想がわかる事典』、日本実業出版社、1994。
- 星野勉・三嶋輝夫・関根清三編、『倫理思想辞典』、山川出版、1997。
- フッサール（長谷川宏訳）、『経験と判断』、河出書房新社、1975。
- (Husserl, Edmund, *Erfahrung und Urteil: Untersuchungen zur Genealogie der Logik*, Redigiert und herausgegeben von Ludig Landgrebe, Dritte unveränderte Auflage, Classen Verlag, Hamburg, 1964.)
- 今道友信、『エコエティカ』（講談社学術文庫）、講談社、1990。
- 今西錦司、『主体性の進化論』、中央公論社、1973。
- 井上達夫、「共同体論—その諸相と射程」、日本法哲学会編、『法哲学年報：現代における個人—共同体—国家』、有斐閣、1989。
- 入口豊、「スポーツとドーピング」、体育原理専門分科会編、『スポーツの倫理』、不昧堂出版、1992。
- 伊藤静夫、「記録挑戦の陰で止むことのないアスリートたちの薬物依存」、『別冊宝島 130 スポーツ科学・読本』、宝島社、1991。
- 岩井克人、『資本主義を語る』（ちくま学芸文庫）、筑摩書房、1997。
- Jonas, Hans, *Das Prinzip Verantwortung*, Frankfurt am Main, 1979. (Dritte Auflage, 1993).
- 影山健、岡崎勝、水田洋編著、『反オリンピック宣言』、風媒社、1981。
- 金子武蔵編、『新倫理学事典』、弘文社、1970。
- 角田幸彦、『歴史哲学としての倫理学』、東信堂、1993。
- 亀井克利・塚越克己、「スポーツとドーピング」、浅見俊雄・宮下充正・渡辺融編、『現代体育スポーツ体系』第11巻、講談社、1984。
- 加藤尚武、『環境倫理学のすすめ』、丸善、1991。
- 加藤尚武、『倫理学の基礎』、放送大学教育振興会、1993。
- 加藤尚武、『応用倫理学のすすめ』、丸善、1994。
- 加藤尚武、『現代倫理学入門』（講談社学術文庫）、講談社、1997。
- 加藤尚武、「現代生命倫理学の考え方」、加藤尚武・加茂直樹編、『生命倫理学を学ぶ人のために』、世界思想社、1998。
- 加藤尚武編、『環境と倫理』、有斐閣、1998。
- 加藤尚武・加茂直樹編、『生命倫理学を学ぶ人のために』、世界思想社、1998。
- 川北稔編、『「非労働時間」の生活史』、リプロボート、1987。
- 川本隆史、『現代倫理学の冒険』、創文社、1995。
- Keating, James, "Sportsmanship as a Moral Category" in Morgan and Meier (Eds), *Philosophic Inquiry in Sport* (2nd Ed.), Human Kinetics, 1995。
- 鬼頭秀一、『自然保護を問いなおす』（ちくま新書）、筑摩書房、1996。
- 清川正二、『オリンピックとアマチュアリズム』、ベースボール・マガジン社、1986。
- 小林康夫、船曳建夫編、『知の技法』、東京大学出版会、1994。
- 近藤良享、「薬物ドーピング禁止規定に関する一考察」、『スポーツ教育学研究』第10巻第1号、1990. pp. 1-11。
- 近藤良享、「「スポーツと薬物」をめぐる問題」、体育原理専門分科会編、『スポーツの倫理』、不昧堂出版、1992. pp. 119-138。
- 近藤良享、「スポーツにおけるバクナリズムと自己決定～辰吉丈一郎問題を事例として～」、日本体育・スポーツ哲学会第18回大会 1996年8月19日、当日配布資料。
- 近藤良享、畑孝幸、真田久、友添秀則、関根正美、「近代オリンピックの批判的検討」、

- 『体育原理研究』第27号(平成8年度)、1996.
- 黒田善雄・中嶋寛之(監訳)、『スポーツ医学事典』、南江堂、1992.
- Lavin, Michael. "Sports and Drugs: Are the Current Bans Justified?" , in *Journal of the Philosophy of Sport*, XIV, 1987, pp.34-43.
- MacIntyre, Alasdair. *After Virtue: A Study in Moral Theory* (Second Edition), Duckworth, 1985. (マッキンタイア(篠崎榮訳)、『美德なき時代』、みすず書房、1993.)
- 丸山圭三郎、『ソシエールの思想』、岩波書店、1981.
- 丸山圭三郎編、『ソシエール小事典』、大修館書店、1985.
- Meier, Klaus V. "Restless Sport" , in *Journal of the Philosophy of Sport*, X II, 1985, pp.64-77.
- メンダス(谷本光男・北尾宏之・平石隆敏訳)、『寛容と自由主義の限界』、ナカニシヤ出版、1997. (Mendus, Susan, *Toleration and the Limits of Liberalism*, Macmillan, 1989.)
- J.S.ミル、『自由論』、中央公論社、1967. (Mill, J.S., *On Liberty*, Dolphin Edition, 1961.)
- 見田宗介、『現代社会の理論』(岩波新書)、岩波書店、1996.
- 三浦雅士、『身体の零度』、講談社、1994.
- 水野肇、『インフォームド・コンセント：医療現場における説明と同意』(中公新書)、中央公論社、1990.
- 水谷雅彦、『行為と規範』、宇都宮芳明・熊野純彦編、『倫理学を学ぶ人のために』、世界思想社、1994.
- 守能信次、『スポーツとルールの社会学』、名古屋大学出版会、1984.
- 森田啓、『スポーツ世界の形成・スポーツ世界の参加について～スポーツ倫理学のための基礎的研究～』、『体育思想研究』第1号、1997年2月、pp.87-100.
- 森田啓、『人間の本质としての差異化・卓越化に関する一考察～スポーツ倫理学の基礎的研究～』、『体育思想研究』第2号、1997年2月、pp.51-65.
- 森田啓、『スポーツ世界への環境倫理思想の適用可能性に関する研究～ハンス・ヨーナスを中心にして』、『体育思想研究』第3号、1998年3月、pp.53-69.
- モトラム(黒田善雄、河野一郎監訳)、『スポーツと薬物使用』、文光堂、1991. (Mottram, D.R., *Drugs in Sport*, E.& F.N.Spon, 1988.)
- 村上陽一郎、『科学・哲学・信仰』(レグルス文庫)、第三文明社、1977.
- 中村勝巳、『近代文化の構造』、講談社、1995.
- 日本体育協会編、『スポーツ大事典』、大修館書店、1982.
- 日本体育協会、スポーツ科学専門委員会、ドーピング対策班『アンチ・ドーピング国際オリンピック憲章とJASAドーピング・データベース』、ぎょうせい出版、1992.
- ニーチェ(秋山英夫訳)『道徳の系譜』、『ニーチェ全集』第三卷(第Ⅱ期)、白水社、1983.
- 大澤真幸編、『社会学のすすめ』(21世紀学問のすすめ3)、筑摩書房、1996.
- アンネマリー・ビーバー(越部良一・中山剛史・御子柴善之訳)、『倫理学入門』(ヴァリエ叢書5)、文化書房博文社、1997. (Annemarie Pieper, *Einführung in der Ethik*, Franchke Verlag Gmbll Tübingen, 1991.)
- ポルトマン(高木正孝訳)、『人間はどこまで動物か』(岩波新書)、岩波書店、1961. (Portmann, Adolf, *Biologische Fragmente zu einer Lehre vom Menschen*, Benno Schwabe, 1951.)
- 佐伯啓思、『「アメリカニズム」の終焉』、TBSブリタニカ、1993.
- 佐伯啓思、『「欲望」と資本主義』(講談社現代新書)、講談社、1993.
- 佐伯啓思、『イデオロギー／脱イデオロギー』(21世紀問題群ボックス5)、岩波書店、1995.
- 佐伯啓思、『現代社会論』(講談社学術文庫)、講談社、1995.

- 佐伯啓思、『現代日本のリベラリズム』、講談社、1996.
- 佐伯啓思、『現代民主主義の病理』、日本放送出版協会、1997.
- Sandel, Michael J., *Liberalism and the Limits of Justice*, Cambridge University Press, 1982. (M.J.サンデル (菊池理夫訳)、『自由主義と正義の限界』、三嶺書房、1992.)
- Schneider, Angela, "Drugs in Sport: The Straight Dope" .Unpublished manuscript, presented at the annual conference of the Philosophic Society for the Study of Sport, Fort Wayne, Indiana, October 10, 1990.
- Schneider, A.J. and Butcher, R.B., "The Internal Goods of Sport as a Justification for Doping Bans", unpublished paper read at 21st annual meeting of The Philosophic Society for the Study of Sport, 1993.
- Schneider, A.J. and Butcher, R.B., "Why Olympic Athletes Should Avoid the Use and Seek the Elimination of Performance-Enhancing Substances and Practices From the Olympic Games" in *Journal of the Philosophy of Sport*, X X-X X I, 1993-4, pp.64-81.
- ジンメル (元浜清海・居安正・向井守訳)、『貨幣の哲学 (分析編)』 (ジンメル著作集 2)、白水社、1991. (Simmel, Georg, *Philosophie des Geldes*, 4 Aufl. München und Leipzig, Duncker & Humblot, 1922.)
- ジンメル (居安正訳)、『社会分化論』、青木書店、1970.
- (Simmel, Georg, *Über soziale Differenzierung, Sociologische und Psychologische Untersuchungen*, Duncker & Humblot, 1890.)
- Simon, R. L., *Fair Play*, Westview, 1991.
- Simon, R. L., "Good Competition and Drug-Enhanced Performance" in *Journal of the Philosophy of Sport*, XI: pp.6-13. 1984.
- シンガー (山内友三郎監訳)、『私たちはどう生きるべきか』、法律文化社、1995.
- (Singer, Peter, *How are we to live?: Ethics in an age of self-interest*, Reed International Book Australia Pty Ltd. 1993.)
- 鈴木丈織、『胎児革命』、アクア出版、1994.
- 周愛光、三原幹生、「スポーツマンにおける薬物使用についての倫理学的一考察」、『日本体育学会第39回大会大会号A』、1988.p.46.
- 体育原理専門分科会編、『スポーツの倫理』、不昧堂出版、1992.
- 高橋秀和、「理性と物神」、宇都宮芳明・熊野純彦編、『倫理学を学ぶ人のために』、世界思想社、1994.
- 高橋広次、「環境倫理学と現在」、阿南成一他編、『自然法の多義性』、創文社、1991.
- 竹田青嗣、「ハイデガー存在論への展開」、『現代思想・入門』 (別冊宝島 44)、宝島社、1984.
- 武谷三男、『安全性の考え方』 (岩波新書)、岩波書店、1963.
- 多木浩二、『スポーツを考える』 (ちくま新書)、筑摩書房、1995.
- 田中正司、『アダム・スミスの倫理学』 (上下巻)、御茶の水書房、1997.
- 谷口源太郎、「不透明な好記録」、『NUMBER』204号、1988年10月5日号.
- 谷本光男、「環境問題と世代間倫理」、加茂直樹・谷本光男編、『環境思想を学ぶ人のために』、世界思想社、1998.
- Taylor, Charles, Rockefeller, Steven C, Walzer, Michael, Wolf Susan, (Ed) Gutmann, Amy, *Multiculturalism and "The Politics of Recognition"*, Princeton University Press, 1992. (チャールズ・テイラー他 (佐々木毅他訳)、『マルチカルチュラルリズム』、岩波書店、1996.)
- レイモン・トマ、『スポーツの歴史』、白水社、1993. (Thomas, Raymond, *Histoire du sport*,

- Presses Universitaires de France, 1991.)
- Todd, T., "The Steroid Predicament" in *Sports Illustrated*, August 1, 1983, pp. 71-72.
- 友添秀則、近藤良享、「スポーツ倫理学の研究方法論に関する研究」、日本体育・スポーツ哲学会『体育・スポーツ哲学研究』第13巻第1号、1991.
- 土屋恵一郎、『ポストモダンの政治と宗教』、岩波書店、1998.
- 宇都宮芳明、「倫理学の課題」、宇都宮芳明・熊野純彦編、『倫理学を学ぶ人のために』、世界思想社、1994.
- 鷺田小彌太、『倫理学講義』、三一書房、1994.
- 和辻哲郎、『倫理学 上巻』、岩波書店、1965.
- ヴェーバー（大塚久雄訳）、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（岩波文庫）、岩波書店、1989（改訳）.
- （Weber, Max, *Die Protestantische Ethik und Der Geist Des Kapitalismus*, 1920.）
- ヴェーバー（脇圭平訳）、「職業としての政治」、『政治論集2』、みすず書房、1982.
- （Weber, Max, *Politik als Beruf*, 1919.）
- 山岸健、『増補 社会的世界の探究』、慶應通信、1985.
- 山口昌男、『文化と両義性』、岩波書店、1975.
- 吉沢伝三郎、「シンポジウム「倫理学とは何か」第一部概要」、日本倫理学会編、『倫理学とは何か』、慶應通信、1988.